

# チャンピオンカーニバル2011 決勝トーナメントルール

## ◇ 遵守事項

### 【大会形式】

スタイル:スタンダードスタイル・エクストリームスタイル

※今大会においては、デッキを構築する際、両スタイルを通して同じカードは4枚までしか使用できません。

例1)スタンダードスタイルでカードAを4枚登録した場合、エクストリームスタイルではカードAを登録することができません。

例2)スタンダードスタイルでカードAを2枚登録した場合、エクストリームスタイルではカードAを2枚まで登録することが可能です。

**試合形式:90分3本制2本先取 構築戦 サイドボードなし**

試合の内訳は下記のとおりとなります。

1本目…スタンダードスタイル

2本目…エクストリームスタイル

3本目…本選の成績上位者が選択

決勝トーナメント中のデッキ途中不可変更はできません。(サイドボードは禁止となります)

※本選ラウンドと決勝トーナメントでは、デッキの変更が可能です。

### \*スタンダードスタイル使用可能なカード\*

下記に収録されているカードのうち、スタンダードスタイルに対応しているカードが使用可能です。

- ・2005年6月30日発売の「逆襲の巨蟹宮」以降発売されたエクспанションに収録されているカード
- ・スタンダードスタイル対応のエキストラパック、エキストラエクспанションのカード
- ・スタンダードスタイル対応の各種PRカード
- ・その他、スタンダードスタイルで使用可能と定めたカード

### \*エクストリームスタイル使用可能なカード\*

下記に収録されているカードのうち、エクストリームスタイルに対応しているカードが使用可能です。

- ・2005年6月30日発売の「逆襲の巨蟹宮」以降発売されたエクспанションに収録されているカード
- ・スタンダードスタイル対応のエキストラパック、エキストラエクспанションのカード
- ・スタンダードスタイル対応の各種PRカード
- ・その他、エクストリームスタイルで使用可能と定めたカード

※使用制限カードにつきましては、別紙をご確認ください。

※当大会では、2011年12月5日(月)以降新たに配布されるPRカードは使用できません。

※また、SagaI、SagaIIや、12月5日(月)以降に配布・発売されたPRカードであっても、

上記の使用可能なカードと同名のカード(再録カード)であれば使用可能です。

その他のSagaI、SagaIIのカードは全て使用不可となります。

※同名カードのテキストが異なるカードにつきましては、最新エクспанションのテキストに準じます。

※使用不可とされているカードの使用が発覚した場合、本日の全ての対戦結果を没収させていただく場合がございます。予めご了承下さい。

## 【対戦について】

●先攻、後攻は7枚のドロウの前にジャンケンで決定して下さい。(勝った方が先攻・後攻を選択)

●先攻のファーストドロウはありません。

●後攻は1回のみ手札の引き直しが可能です。手札を引き直す場合、手札を山札に戻してから、後攻、先攻の順にシャッフルを行い、その後、手札を引き直して下さい。

●開始の合図があるまで、手札は引かないでください。

●途中投了は可能です。その際、与ダメージは0、受ダメージ10としてください。

●同意による引き分けは禁止となります。

※対戦内容が不適切だと判断した場合、成績を没収する場合がございます。

●その他、詳細は最新のアクエリアンエイジルールブックに準じます。

●ゲームの勝敗

・敗北条件

1.ダメージ置き場に置かれたカードが10枚以上になった瞬間。

(バトルの結果であれば、そのバトル判定の処理が済んだ時点)

2.デッキにカードが一枚も無い状態で、デッキからカードを引かななければならない。

・勝利条件

対戦相手を敗北させ、かつ自分が敗北していないプレイヤーの勝利。

・時間切れ、または両者が同時敗北した場合、下記の優先順位で勝利者を決定します。

1:その試合の与ダメージ合計

2:その試合の受ダメージ合計

3:決勝トーナメント全試合の与ダメージ合計

4:決勝トーナメント全試合の与ダメージ合計

5:本選を含めた全試合の与ダメージ合計

6:本選を含めた全試合の受ダメージ合計

## 【その他】

●いかなる場合でも、ジャッジの判定・指示には従ってください。

●遅延行為に関する注意

・対戦相手が故意に対戦時間を引き延ばしていると判断した場合は拳手し、ジャッジを呼んで下さい。

ジャッジの判断により試合時間の延長、または追加のターンを行うことがあります。

また、遅延行為と判断された場合、ジャッジの判断で注意・警告を与える場合がございます。

●禁止行為について

大会ルールで禁止されている行為が発覚した場合、大会参加中の成績を没収する場合があります。